

つた

郷と国際交流の里
TSURUTA

2024

5

No.763



<主な内容>



第36回中学生大使ツツリバー訪問	2～4
団体験記	5～9
議会の窓	10～11
みんなのひろば	12～17
こちら町の情報局	18～19
話題にしひがし	20
岩木川総合水防演習	

ツル多はげます会けがなし交通安全
～「けがなし」頭を触って事故防止～



友好の絆を深めた姉妹都市交流

～第36回中学生大使フッドリバー訪問団体験記～

3月13日から19日までの日程で、鶴田町の中学2年生6人が姉妹都市米国オレゴン州フッドリバー市を訪問しました。生徒たちは遠く離れた土地で、言語や文化の違いに期待と不安を抱きながらも、多くのことを学び、交流を深めてきました。

今回はフッドリバー市を訪問した生徒たちの体験記をご紹介します。



初めての
ホームステイ

佐藤 天音

私はこのフッドリバー市への訪問で、初めてのホームステイに挑戦しました。訪問する前から、言葉や文化の面で心配事がたくさんあり、苦しい場面も数え切れないほど直面しました。

最も苦労したのは言葉です。いつも受けている英語のリスニングテストのような英語とは全く違い、現地の英語は話すスピードがとても速く、言葉同士を繋げて話していて、言葉を省略されていることが多かったです。そのため聞き取ることさえ難しく、仲間と協

力しながらコミュニケーションを取っていました。

ホストファミリーの方々がとても親切にしてくれたおかげで、滞在期間が楽しく、行って良かったと心から思うことができました。

今回の経験は自分にとってかけがえのないもので、自分が知らなかった未知の世界を見せてくれました。この経験を大切にしていきたいと思います。





今回フッドリバーに訪問するにあたって、なるべくアメリカの人と話をしようということ、アメリカと日本の文化の違いを探すことを目標にしていました。

実際アメリカに行くと周りの人がみんな英語で話をしていて最初は気弱になってしまいましたが、だんだん慣れてくると自分の知っている単語やジェスチャーを使いながらコミュニケーションをとることができました。

そして文化の違いについては、食事はパンが主食だったこと、授業はデジタル化が日本より進んでいるという違いを見つけることができました。

佐藤 道

今回このような機会を与えて下さった鶴田町長様はじめ役員のみなさん、引率して下さったみなさん、ホストファミリーのみなさんや家族には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

今回このような機会を与えて下さった鶴田町長様はじめ役員のみなさん、引率して下さったみなさん、ホストファミリーのみなさんや家族には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



今回の7日間でフッドリバー訪問で、私はたくさんの貴重な経験をすることができました。

最初は「自分の英語は通じるのかな」「会話できるのかな」という不安がとてもあり、緊張していましたが、フッドリバー市の方々が笑顔で私たちを歓迎してくれて、とてもうれしかったです。

次の日からは、中学校に通ったり、スキーに行ったり、バーベキューをしたりなどのいろいろなことを体験しました。その中でも特に心に残っていることはポートランドでのショッピングです。見慣れない本や文具、雑貨やお菓子ばかりでとても楽しかったです。

フッドリバーでの思い出

貴田 杏南

フッドリバーを訪問して、改めて「笑顔」「Thank you」はすごく大切だと実感しました。2つがあれば言語の壁を乗り越えられるということは、とても素敵なことだと思います！

フッドリバーを訪問して、改めて「笑顔」「Thank you」はすごく大切だと実感しました。2つがあれば言語の壁を乗り越えられるということは、とても素敵なことだと思います！



訪問団の主な行程

3月13日	フッドリバー到着、マルトノマの滝を訪問、ホストファミリーがお出迎え、ウェルカムパーティ
3月14日	ホストファミリーと中学校に登校し、授業を受ける
3月15日	ホストファミリーと中学校に登校し、授業を受ける マウントフッドスキー場でスキーに挑戦
3月16日	レイ・ヤスイさんのお墓参り フレンドシップ公園に桜の植樹 シリオレストランで料理教室 ホストファミリーとボウリング・フリータイム 全てのホストファミリーと中学生でBBQ
3月17日	ホストファミリーとフリータイム ポートランド観光
3月18日	フッドリバーを出発
3月19日	帰国、解団式



海外を経験してみても

渋谷 華

私はフッドリバーへ行き、日本との違いにすごく驚きました。街並み、家、学校など見るもの全てが新鮮でとても面白かったです。

なかでも学校は、日本とは全然違いました。学級というものがなく、自分で教室に移動しました。どの授業も一つの机に4、5人が座り班活動をしているみたいで楽しかったです。スマホの持ち込みなども許可されていて、とても自由に感じました。

街並みにも日本との違いを感じました。道路がとても広く、自然もたくさんあり、ずっと歩いていても飽きませんでした。また、急な坂道も多くあり、下の方の町がよく見えるのも綺麗で、街並みだけでもこんなに違うのかと驚きました。

フッドリバーへの訪問は私にとって初めてのことがたくさんあり、とても良い経験になりました。一生の思い出を作れて良かったです。



最高の思い出のフッドリバー

松江 伶恩

今回の訪問は初めての海外で日本で旅をするよりも楽しく、学べるものもたくさんありました。

僕は前から洋楽などを聴くのが好きで、ホストファミリーの人たちと好きなアーティストが合ったときの興奮はたまりませんでした。なので、外国人みたいに英語をペラペラに話す人はかっこよく見えて憧れが強くなりました。

ホームステイの最初は緊張でなかなか話が進まず、翻訳機械を多用していましたが、後半は日本についてや家族についての話などで盛り上がりました。

最後にアメリカで感じたことは、とても親切な所です。上手に英語を話さなくても、「OK、OK」と受け入れてくれました。なのでまたアメリカに行く機会があったらぜひ行きたいです。



フッドリバーでの思い出

渋谷 実莉

今回の訪問で私は日本とフッドリバーの違いを学ぶことができました。

1つ目は学校についてです。日本の学校よりも校則が少なく、自由さが楽しそうでした。また、セキュリティ対策が強固でびっくりしました。

2つ目は食べ物についてです。ハンバーガーのハーフサイズがハーフとは思えないサイズだったり、ピザのサイズがとても大きかったりと全てがアメリカンサイズですごく良かったです。

中学生大使の訪問は5年ぶりです少し緊張していた所もありましたが、ホストファミリーの方が温かく迎えてくださり、とても楽しいものとなりました。日本とは違う文化や言語に実際に触れるという貴重な体験ができて良かったです。

フッドリバー訪問団のホストファミリーになってみませんか？

8月に来町するフッドリバー市からの訪問団を迎え入れて下さるホストファミリーを募集しています。フッドリバー市民の方々と交流し、生活を共にすることは、ご家族にとってもかけがえのない体験になります。興味のある方は、どうぞお気軽にお申し込み、お問い合わせください。

●滞在期間（予定）

8月3日（土）～8日（木）までの5泊6日 ※受入期間などについて、お気軽にご相談ください。

●内容

宿泊場所と食事の提供、歓迎会への出席、集合・解散場所までの送迎等をお願いします。

■問い合わせ先：企画交流課 交流係 ☎：0173-22-2111（内線263）

小関 優 議員

所属党派 政優会

①鶴田町の経済状況について

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に五類へ移行し、もうすぐ1年になろうとしています。現在の鶴田町の経済状況をどう捉えているのかお知らせください。

②子どもを2人目、3人目生める環境へ

人口減少の坂道を緩やかにするためには、2人目、3人目の子どもを望む方が、次の子どもを生もうと一歩踏み出せる支援が必要であると思いますがいかがでしょうか。

③トップセールスについて

相川町長が考えるトップセールスとはどのようなものかお知らせください。

④中学校の部活動について

鶴田町において、中学校の部活動はどのような位置づけになっているのかお知らせください。

答弁 町長

①鶴田町の経済状況について

青森財務事務所発表の県内経済情勢報告では、1月判断を持ち直しているとした上で、個人消費は百貨店、スーパー等の販売額が前年を上回っていることから持ち直している、生産活動は電子部品等

が持ち直しの動きに一服感が見られることから足踏みの状況にあり、雇用情勢は緩やかに持ち直しつつあるとされています。

また、青森県商工会連合会の中小企業景況調査で2月に報告された要約では、新型コロナウイルス蔓延の頃と比べ、緩やかに回復傾向にあると判断でき、僅かながらでも好転や改善が見られるが、原材料価格や仕入価格の上昇、人件費の増加と人手不足が懸念され、低成長ないし横ばいの傾向が続くだろうと推測しております。

当町においても同様と捉えており、昨年5月の感染症5類移行後はイベントや会合などが再開され、飲食店などへの外出も増えており、商品券の給付やプレミアム付商品券の販売などにより消費行動が活発になりましたが、事業者全体の好転には至らず、物価高などによる先行き不安もあり、景気回復への好材料がなかなか見つからない状況にあるものと考えております。

引き続き、国の交付金、県の補助金等を活用した施策を含め、町民に対して必要な経済支援をしてまいりたいと考えております。事業者支援については、後継者がおらず、高齢のため廃業する事業者が近年増えている状況もありますので、創業、事業承継を後押しするための支援を検討するなど、関係機関と協議をしながら、事業者が必要とする支援に対応できるよう努めてまいります。

②子どもを2人目、3人目生める環境へ

現在町では、次代を担う子どもの健やかな成長を願い、子育て環境の整備充実を図るために、誕生祝金、0歳から2歳児の保育料の無償化、3歳から5歳児の副食費の無償化、小中学校の給食費の無償化並びに乳幼児から高校生までの医療費の無償化に係る事業を実施しております。

町の財政状況は厳しいものですが、子どもを生み育てやすい環境を支援するため、子どもの成長過程に応じた保育、教育並びに医療など、子育て世帯に係る経済的負担の軽減を図るための重要な施策を先駆けて行っております。

また、県が小中学校給食費の全無償化や子育て支援のために新たな市町村交付金制度の創設を検討しているため、今後3月末に県が開催する担当者説明会を踏まえ、関係各課と協議しながら、この交付金を活用した新たな子育て支援事業について検討していきたいと考えております。

なお、国でも子ども関連政策の強化に向けて、児童手当の高校生までの対象拡大と多子世帯増額や多子世帯への大学等の授業料無償化などの実施を予定していることから、今後の動向に注視しながら検討してまいります。

③トップセールスについて

私は、これまで主にスチューベンを宣伝するためのトップセールスを行ってまいりました。平成27年度に、つがるにしきた農協と一緒に愛知県内のスーパーマーケット3店舗のほか、五所川原中央青果や生産者と一緒に大田市場へ、

さらには弘前中央青果や生産者と一緒にイトーヨーカドー大森店へ出向き、合計5か所で実施いたしました。

以降、平成28年度には5か所、平成29年度には2か所、平成30年度には3か所、令和元年度には3か所、産地市場や生産者など連携しながら実施しております。その後、令和2・3年度は新型コロナウイルスの影響により、また令和4年度と今年度は大雨災害や高温障害による品質低下、収穫量の減少により実施することができませんでした。ほかにも、10月初旬には津軽どう協会の役員と一緒に県知事を表敬訪問し、収穫したスチューベンの紹介、道の駅つるたで開催されるスチューベンぶどう祭りのPRなども併せて行っております。

私が考えるトップセールスについてですが、首長が宣伝マンとなり、町や地域、地元特産品などを売り込むことにより、町の活性化につなげていくことを目指して活動するものであると考えています。スチューベンの販路拡大に向けたトップセールスは今後も行っ

てまいります。一層、生産者をはじめ関係者と連携した取組にしていきたいと考えております。

また、リニューアルする鶴の舞橋をはじめ、地元特産品や誘客など、観光に関するトップセールスにも努めてまいります。

④中学校の部活動について

現在、鶴田中学校の部活動は、スポーツ、文化芸術に興味、関心のある生徒が自主的、自発的に参加し、各部活動の責任者の指導の下、学校教育の一環として行われており、13の運動部と2つの文化部が活動しています。

学校の働き方改革に伴い、国では令和4年12月に学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインを策定し、公立中学校において学校と地域との連携、協働により、生徒のスポーツ、文化芸術活動の場として新たに地域クラブ活動を整備する必要があること、そして地域における新たなスポーツ、文化芸術環境の整備については、まず休日における地域の環境の整備を着実に進めること、また平日にお



▲令和6年4月から交付している「誕生記念証」

ける環境整備については、できる
ところから取り組むことが考えら
れると示しました。

当町では、令和元年度から県の
部活動指導員配置事業を活用し、
3つの運動部に4名の指導員を配
置しており、昨年度は中学校の要
望により7名に拡充しております。
しかし、地域クラブ活動に移
行して同様に指導していただくに
は、活動日数や活動時間の制約、
さらなる指導員の確保などさまざ
まな課題があります。

当委員会としましては、部活動
という位置づけの中で、地域の
方々に外部指導者という形で入っ
ていただき、まずは休日の活動を
外部指導者のみとすることとし、
地域クラブへの移行については関
係機関と十分に協議して進めてい
きたいと考えております。

(再質問)

1点目の鶴田町の経済状況につ
いて、原料費や資材、従業員を雇
う賃金の高騰等が認められ、小売
店や飲食関係は、苦しい状況にあ
ると思っております。また、ゼロ
ゼロ融資の元本の返済が始まって
おり、普段の生活の収入以上に支
出が増えていくという状況にあ
り、町の経済状況は、決してよい
ものではないと思っております。

そうであれば、町としてできる
ことは何か考えたときに、やはり
鶴田町の商店街並びに飲食店等々
を積極的に利用してもらえよう
に誘導していくような方策が必要
であると考えます。例えば成人式
並びに実年式、その他褒賞等のイ

ベントがあったときに、何か補助
をして町の飲食店街に行っていた
だくような活動も必要であると思
いますし、いろんな補助を出しな
がら町の商店街を活用していただ
くような支援策も必要であると思
えますが、いかがでしょうか。

2点目の子どもを2人目、3人
目生める環境へについてですが、
県の施策として給食費無償化をや
るといふ話で、新聞を見ておりま
すと、給食費の無償化を先行でや
っていたところについては、財源
をそれに充てるのではなく、新た
な子育て支援策に取り組んでくだ
さいという意味で交付するという
ふうに見えております。

今現在鶴田町で、単純に言う
夫婦2人で子どもを2人生めば人
口維持で、1人だと1減なんです。
最近の調査でいくと、合計特殊出
生率、平成25年から平成29年の数
値が1.38。一生で女性の方が
産む出産数1.38は、2人に達
していないということですが。

平成25年からの出生数を見てみ
ますと、平成25年が91人、平成26
年が76人、平成27年が80人、平成
28年が68人、平成29年が65人、こ
の間の合計特殊出生率が1.38
です。その後の調査結果がまだ出
ていませんが、出生数だけいい
ますと、平成30年は64人、令和元
年が60人、令和2年が56人、令和
3年が45人、令和4年が44人、平
成25年の91人に比べますと、もう
半減です。ということは、2人目、
3人目を持ちたいという夫婦のと
ころに後押しができていないと私
は考えます。新しい調査では1.

38を下回ってくると思います。
子どもが生まれなければ消費も生
まれません。経済活動もできませ
ん。しっかりと2人目、3人目
多く生めるような鶴田町であって
ほしいと思いますので、対応をよ
ろしくお願いします。

3点目のトップセールスにつ
いてです。先ほど町長はスチューベ
ンのPR活動、販路拡大などやら
れていると話されましたが、それ
ではまだ足りないと思います。私
が考えるトップセールスは、トッ
プとトップが会えるということが
一番のメリットであり、町のトッ
プは町長で、会社のトップは社長
です。そこがトップ会談できる
というのがトップセールスです。

町全体を見て、鶴の舞橋、観光
名所ではありますが、宿泊施設が
ないためにほとんど泊まらず素通
りで、町に本来は落ちているお金
が落ちていない状況を考えて、
例えばどこかのホテルの社長に直
談判に行くことも一つ。あと鶴
田町の産業構造の中では働く場所
が少ないということも考え、
例えば今熊本で話題となってい
る、半導体の工場が来たことによ
って賃金も上がっているし、町が
すごく潤っている、土地の価格も
上がっているというような状況も
あります。これも結局はトップ会
談がなせるようなことです。

町の特産品を消費者に届けると
いうことも当然必要ですが、さら
に上の次元で、鶴田町のホテル、
宿泊施設が足りないから経済をど
うしようかと、町民の仕事、雇
用する場をどうするか、その辺

もしつかりと考え、トップ会談で
きるのがトップセールスだと思
いますが、いかがでしょうか。

答弁 町長

経済状況についてですけども、
経済の約50%は個人消費だと言わ
れていますので、商店街で皆さん
に買物をしてもらうためにはやっ
ぱり町民の可処分所得が増えてい
かなければ、なかなか消費が向上
していけないんだらうというふう
に私は思います。そういう意味で
は、賃上げも本場に大事なことだ
し、最低賃金もまだまだ中央との
格差があるし、もっともっと上昇
してもらわなければならないとい
うふうにも思っております。

町のほうでも県の補助金を活用
して商品券を交付したり、また商
工会に補助金を出してプレミアム
商品券の交付をしてもらったり、
あるいは水道の基本料金の無償化
をして、少しでも使えるお金を下
支えしていく施策等をやってまい
りました。

そういうことで、町民の可処分
所得を少しでも下支えしていくた
めの努力はしていくつもりです。

それから合計特殊出生率、誕生
した子どもの人数について今お話
がございましたが、人口を増やし
ていく、増やすまでも急激に下が
らないようにしていくためには、
知事が言っているに合計特殊出生
率2以上にならないかならない
だろうと私も思っております。

町では、合計すれば1億1千万
円の支援をしており、県のほうで
給食費無償化実施をしている市町

村に対して子育て支援の交付金を
交付することです。なので、こ
の使い方についても検討をしてい
きたいと思っております。

また、国でも、高校生までの児
童手当の拡充だとか、いろいろ今
国会のほうで審議をされてござい
ます。やはり子育て支援について
は、国、県、町、一体となり進め
ていかなければならないと考えて
おります。

子育て支援については、財源と
も相談しなければなりません。が、
今後も前向きに支援を進めてまい
りたいと思っております。

トップセールスについてはです
が、私はリンゴについては青森県
のブランドですので、知事が先頭
に立ってやっていただければと。
スチューベンについては、全国の
中で青森県鶴田町が一番生産量が
多い町ですので、これまでも自ら
トップセールスをしてまいりまし
たが、なかなか皮を残す食べ方が、
まだ若い人を中心に知れ渡って
いませんので、食べ方からやっぱり
教えていかなきゃいけない。また、
スチューベンの最大の特徴である
甘さを紹介しながら、販売価格に
つながっていくよう、消費されて
いくようにこれまでもやってまい
りましたが、小関議員からそれだ
けでなく、ホテルだとか企業だど
かいろいろなお話ございました。そ
れらについても今後検討しながら
進めてまいりたいというふうにし
てまいります。

(再々質問)

鶴田町の経済状況について、個

人消費を伸ばす下支え、確かに個人の方に頼らなければならぬ部分があります。それを誘導する施策が必要であります。鶴田町の人が町にお金を落とすとしていただくように誘導する支援策が必要であると私は話しているんです。

だから、町長が話している水道料金の減免とかを否定しているのではなく、そこで浮いたお金を町の中で積極的に使っていたら、背中を押すような支援策をやっていたらいい。原料費も資材費も高騰し、いろいろなものが値上がりしている中で雇用している人たちの賃金も上げなければいけない。賃金を上げるためには、中小企業、お店の人たちは売上を上げないといけない。売上を上げるためには、町が積極的に町内の中で買ってもらうような経済の循環をつくらなければならない、賃金も上げられないんです。そこをしっかりと理解しながら、町の経済のことを考えていただければと思います。

2点目です。町長の子どもの政策については、1人目も2人目も3人目もみんな平等の政策です。1・3・8をより2に近づけるようにするためには、2人目、3人目を産む人に追加支援が必要だと私は言っているんです。確かに1人目の支援策も当然必要ですが、それだと1・0から増えていかないんです。人口を維持するためには夫婦2人で2人は産まなきゃいけない。だから、2人目、3人目にはげたを履かせるような支援策が必要であります。

新聞を見ますと、今学校給食費

の話、子育て世帯の支援策に使ってくださいという県の方針です。で、ぜひそのお金を活用しながら、2人目、3人目が気持ちよく生めるような鶴田町にしていきたいと思っております。

3点目、トップセールスについてです。先ほどブドウ、リンゴの話もされていましたが、最低賃金を上げるためには、企業の誘致、そういうものが必要であるし、観光地として魅力を増すためにはホテル、宿泊施設が必要であるとも話しました。ホテルができれば、その従業員、鶴田町の人も勤める人が増えていくと思います。

いくら鶴の舞橋をお金かけて修繕しても、ただ素通りで鶴田町にお金が落ちないんであれば、効果としては薄いのかなと感じますので、ぜひともトップセールスでホテルの社長なり、企業の社長なり、そういう方々と会って、しっかりと話をつけるトップ会談をやりたいと思います。

答弁II町長

町の経済状況について、お金を町で循環させていく話をされましたが、私もそれは賛成です。これまでそういう姿勢でやってきました。特に普通建設事業については、町業者でやれる仕事については町でやってもらう。しかし、町でできない仕事については、西北、五所川原圏域を中心にして、この地域にお金が落ちていくように、私はこの間普通建設事業についてそういう考え方でやってきたつもりでございます。

また、確実に商店街にお金が落ちるといふことになれば、やっぱり商品券が一番有効だろうと思っておりますので、これについても商工会とまた相談をしながらやっていきたいと思っております。

次に、子どもの2人目、3人目に格差をつけるべきじゃないかという意見については、内部で今後検討をしていきたいと思っております。それから、トップセールスについて、観光については現在、町内の宿泊施設との兼ね合いも考えなければいけないし、お金を町に落とすためにも、滞在時間を増やしていくことが大事です。で、前に議会の中でオートキャンプ場の話をしましたが、そういうふうな考え方で検討していきたいと思っております。

また、企業については今人手不足と言われている中で、ご承知のとおり、昨年拡張いたしましたハイコンポーネツ青森、青森県の中でも数少ない半導体等の工場でございます。正月の東奥日報でも大きく、県内あるいは東北の半導体企業を取り上げておりましたが、その中に津軽地域ではハイコンポーネツ青森と五所川原の富士電機、この2つが紹介されてきました。県でも地元で若い人に残ってもらうために、地元企業との連携や紹介など行っていますので、今の小関議員の趣旨を生かしながら、町でも地元の企業を何らかの形で紹介していきたいと思っております。

一戸雅人 議員

所属党派 幸志会

①今後の桜まつり・つるたまつりについて

現在、町観光協会が主催で桜まつりを、つるたまつりは運営委員会と実行委員会を組織して開催されています。

まつりは、町民の皆さんの活力向上、商店街の活性化、地元の伝統文化の継承を基に、継承するイベントと新しいイベントを融合した子どもから大人まで楽しめる場であってほしいと思います。

桜まつり、つるたまつりなど四季を通じたまつりを行うには、主催組織を一本化して再編すべきと思います。

新たなまつりイベントの発掘のため、役員職員、若手町民でプロジェクトを編成し、先進地のまつりなど研修する機会を設けたらどうでしょうか。

②町行政を担う職員の知識向上のための研修について

職員の研修は、主に青森県自治研修所で初任者研修、担当業務の専門研修などを受けていると思っております。

今後、更なる町民サービスの向上と町を担う若手行政職員の意識向上を図るため、民間講師を招いての研修やオンラインを活用しての庁舎内研修のできる環境づくりが必要と思っております。

現状の職員研修の状況と今後町行政を担う職員に必要な研修など考えておりますか。

答弁II町長

①今後の桜まつり・つるたまつりについて

町観光協会が主催する桜まつりは、平成19年から実施されており、昨年は、4月22日、23日を開会式を含めたイベント開催日とし、西中野獅子舞の披露、吸盤綱引き、キャラクターショーなどを実施しております。

つるたまつりは、運営委員会を組織して昭和60年から実施されており、昨年は2日間の日程で、「まつりの文化の継承」をテーマに、ねぶた紙貼り体験、はやし体験、ステーション、ねぶた合同運行などを実施しております。

どちらのまつりも、その内容について協議、決定をして開催しているところですが、これまでの開催内容を基本に、社会情勢の変化や規制による内容の変更、廃止も含め、委員の意見を取り入れ、変化、改良しながら開催してまいりました。

事務局は、どちらの組織も商工会に置き、商工会事務局職員、町企企画観光課観光班職員が協力して事務を担っている状況です。

「主催組織を一本化して再編すべき」との意見、「プロジェクトを編成し、先進地の祭りなど研修する機会を設けたらどうか」とのご意見については、昨今コロナ禍により中止を余儀なくされた祭りが復活できず、廃止決定される

報道を見聞きし、当町においても人手不足や担い手育成、各種規制強化によるイベント内容見直しなどの対応が求められているものと認識しているところであり、このような課題を解決するために、組織の再編や祭り運営の見直しなどを検討していく必要があるものと考えております。

祭りを魅力的でにぎわいのあるものとするため、つるたまつり運営委員会委員、商工会、観光協会と意思疎通を図りながら、協議、検討を進めてまいります。

②町行政を担う職員の知識向上のための研修について

町では、職員の資質向上に向けてさまざまな研修機会の確保に努めております。ご質問にもあります青森県自治研修所が行う研修では、新採用者研修や主査研修、主幹研修、管理者入門研修や課長研修など、職員の階層別に実施され

る研修のほか、税務新任者研修や固定資産税研修など、部局別研修などにも参加させています。

また、法制執務研修やクレーム対応研修、交渉力向上研修、人と組織のマネジメント力向上研修、職場の業務の見直し、スリム化研修など、職員自らの参加希望に基づいて参加させる選択研修にも参加させています。

県外への研修については、公益財団法人全国市町村研修財団が主催する市町村職員中央研修所、市町村アカデミー等の研修にも参加させています。

一方、町が主催する研修については、民間の外部講師を役場庁舎に招いての対面研修のほか、オンライン研修も実施しております。

対面研修では、人事評価被評価者研修のほか、メンタルヘルス研修や自殺対策研修などの自己管理に係る研修を開催しており、今年18日には来年度から始まる定年延長制度を踏まえ、公務員の定年延長に伴う職員の活用研修の開催も予定しているところでです。

オンライン研修では、民間業者に委託してコンプライアンス研修などを実施しています。なお、これらの職員の研修の状況につきましては、町ホームページでも公表しておりますので、参考にしていただければと思います。

時代の流れが速いと言われる現代社会において、地域の行政需要は多様化、複雑化しています。このような状況下において、ご質問にありますとおり、住民サービスを維持向上させるとともに、町の

将来を担う若手職員の育成に向けてはDXの推進等をはじめとする時代の流れに沿った職員の意識改革並びに資質の向上が不可欠でありますので、今後ともさまざまな形で研修機会の確保に努めてまいります。

(再質問)

祭りにつきましては、目的と手段があります。祭りの目的は、町民の皆さんの活力向上、商店街の活性化、地元の伝統文化の継承、そういう目的を持って進める。毎年4月、8月、すぐ祭りが来ます。町民の皆さんは、今年どうなるのかなという期待感もあります。

当初330mののり巻きずしは、目的ではございません、人を集めるための手段であります。そのためイベントに1千名ほどかかって一つのものをつくり上げるという、その期待感という部分で、それはやっぱり人を集めるための手段であります。目的は、やはり私が先ほど述べたのが目的であろうと思えます。ぜひ早めに前に進める形で、町長が中心となって組織づくりなどを進めながら、核となった観光もごぎいますので、頑張っていたきたいと思えます。

2つ目の職員の研修の関係ですが、ぜひ我々町民、町民以外の方も役場に入った瞬間、「にこにこ」と笑えるような笑顔のある職場であってほしいと思えます。

皆さんご存じだと思っておりますが、現在鶴小の子どもたちが横断歩道を渡るとき挨拶をして手を挙げて、その後また挨拶をします。

非常に気分がいいものです。ぜひ、現状悪いとは言わないですが、入った瞬間気持ちがいい役場であってほしいと思えます。ぜひその辺を皆さんで検討いただいて、いい職場をつくっていただきたいと思えます。

答弁II企画観光課長

いただいたご意見を参考にしながら、事務方としても今後関係団体、役員と意思疎通を図り、意思確認しながら検討してまいりますと思えます。

答弁II総務課長

職員の研修についての再質問の中で、町民の方々が役場に入ったときに気持ちがいい、笑顔になれるような役場の環境であってほしいと。私ももちろんそれが一番の基本であろうと認識をしております。

時代の流れが速い、こういう中でありますけれども、職員の資質向上に努めていくというのは常時の課題であろうというふうに思えます。これでいいということはありませんので、資質向上に向けた研修を継続しまして、町民の方々が気持ちよく役場に來られて事務を進めていけるように努めていきたいと思います。

つるたまち議会活動報告

VOL.2 (文責：小関優)

議会運営委員会委員長の小関優です。

議会運営委員会とは、議会をスムーズに運営するための話し合いを行う委員会で、議会の中心的な役割を持つ委員会となっています。

例えば、定例会の日程や本会議の進行手順、議会に関するルールなどについて話し合ったりしています。

現在、議員の成り手不足が全国的な問題となっているため、議会について知ってもらえるように、広報活動(議会のインターネット配信など)を計画しています。

また、議員報酬や議員定数の最適化等についても調査してまいります。

シークワードに挑戦



◎賞品提供

道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」

【クイズの解き方】

毎年5月10日～16日は愛鳥週間です。下の文字から縦・横・斜めに隠れている、野鳥を7つ消してください。残った5文字を組み合わせた言葉が答えです。

ス	ズ	メ	ツ	ワ
ト	ガ	バ	ウ	マ
ビ	メ	ウ	グ	ガ
イ	キ	ズ	イ	モ
ワ	ジ	ラ	ス	キ

応募締切

6/3

(月)

必着

応募方法

はがきに答え、住所、氏名（未成年の方は保護者名も記入）、年齢と広報に対するご意見やご感想などを書き添え、次の宛先までお送りください。

〒038-3595 鶴田町大字鶴田字早瀬 200-1

鶴田町役場企画交流課 計画係 行

正解者の中から抽選で、鶴の里あるじゃより、あるじゃで使える「スチューベンぶどうケーキ引換券」と町より「つるりんグッズ」を5名様にプレゼントします。

★4月号の答え

「シンガツキ」

○キーワード（春に咲く花）

ツツジ、アネモネ、リンゴ、ピー、フジ、サクラ、バラ

【4月号当選者(応募総数 20通)】

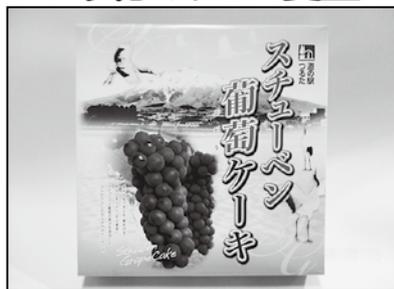
飛鳥政子さん、PN「小町」さん、長内信子さん、PN「まりちゃん」さん、渋谷順子さん

※広報つるた4月号「シークワードに挑戦」にて、「残った6文字を組み合わせた言葉が答え」とありましたが、正しくは5文字でした。お詫び申し上げます。

【シークワード4月号の解答】

ツ	ツ	ジ	シ	ア
リ	ポ	ピ	ー	ネ
ン	フ	ン	サ	モ
ゴ	ジ	ク	バ	ネ
キ	ラ	ツ	ラ	ガ

今月のクイズ賞品



▲5月号クイズ景品
「スチューベンぶどうケーキ」

交番あんぜん・あんしん通信

シートベルト・チャイルドシートの徹底を！

—道路交通法により自動車の運転者は運転の際—

- ・シートベルトを着用すること
- ・同乗者にシートベルトを着用させること
- ・6歳未満の子どもにチャイルドシートを使用させることが定められています。

令和5年の調査では、青森県の後部座席の着用率は約4割で全国平均を下回る結果になっています。

また、チャイルドシートの使用率も全国平均を下回っており、約2割以上がチャイルドシートを正しく使用していない状況です。

■シートベルト着用状況調査

	青森県	全国
運転席	99.6%	99.2%
助手席	98.4%	97.1%
後部席	41.1%	43.7%
チャイルドシート	75.0%	76.0%

「スピードが出ていないから大丈夫」「子供を抱っこしてるから大丈夫」と考えていませんか？

- チャイルドシートを使用せず、事故の衝撃でダッシュボードや窓ガラスに体をぶつけ、大けがを負う
- 車内から外に放り出されて全身に大けがを負う

という交通事故が発生しています。

交通遺児の進学を支援

(公財)交通遺児育英会では、交通遺児の進学を支援します。

▽対象

保護者が交通事故で死亡・重度後遺障害となった家庭の高校生以上の子ども

▽支援内容

- ・奨学金：月額2万円～10万円（無利息）
- ・入学一時金：20万円～80万円（1回限り）
- ※返済期間は最長20年

▽その他

- ・入学前の予約申請制度あり
- ・海外語学研修、奨学生の集いなど高校生向け制度あり（本会が費用負担）
- ・学生寮、家賃補助など大学生・専修生向け制度あり

詳細についてホームページまたは下記にお問い合わせください。

■問い合わせ先

公益財団法人 交通遺児育英会

☎：03-3556-0773

【HP】<http://www.kotsuiji.com>



広報文芸コーナー

作 川柳鶴田吟社、鶴田短歌会、たらの芽文芸クラブ



川柳鶴田吟社四月句会作品

老母の背な産湯のように洗つてる
成田あき子
春だなあメモいっぱいのカレンダー
工藤りん子
毎月の値上げ予告に出る吐息
下山ゆめ子
今の世の現実でもね花は咲く
田中 薫
ありがとうと夕べ亡き妻夢で告げ
永月しんや
天国も地獄も告げる通せんぼ
香田龍馬
酒と甘味いける我は二党流
下山しんや
春告げる花と着に酔いしれる
阿部ひろゆき
父告げる家族守って皆笑顔
奈良二郎
独り立ちする子を万歳で送る

佐藤倫生
菊地志樹
光る子に欠かせなかつた愛とムチ
工藤まさひろ

鶴田短歌会四月作品

弥生月は我が誕生日嫁と孫がもて
なし幸せ涙腺ゆるむ
奈良鉄子
春告げぬ岩木山の頭は残雪に弘前
の里サクラほころぶ
永沢忠義
大鍋によもぎ団子浮き出して春彼
岸ですけの汁の香と
三浦
「おめでとう」と孫の成長の手紙に
心あたたまる吾の誕生日
中島文子

春彼岸桜前線待ちわびて生きてゐ
るから風が身にしむ
松山裕子
橋脚を打つさざ波の音聞こゆ朝日
輝く鶴の舞橋
棟方文雄

「ぼは抜き」に負けたと泣いた幼子
よ学ランの似合う中学生に
山谷テル

■鶴田短歌会 事務局
棟方文雄
TEL 0173 (22) 5103



たらの芽文芸クラブ四月作品

鳥たちはどこにかくれる春の空
織田信
部活帰り春夕焼けがまぶしいな
誠也
花の雨きらきらきれいな写真より
ゆづまる
つくしんぼ隣の葉っぱとせいくら
べ
公園を歩けばあまく梅の花
徠奈
ほほに当たる風ひんやりと春の
におい
さくら
桜餅ほおぼる頬に日の香り
落葉
初桜サドルに乾く鳥の糞
刃心
■たらの芽文芸クラブ 事務局
TEL 0173 (22) 6341

戸籍の窓

(4月届出分：敬称略)



お誕生おめでとう

町名	氏名	保護者
みどり町	成田 蒼	(崇史)
鷹ノ尾	今 宇翠	(夢騎)



ご結婚おめでとう

町名	氏名
(鶴寿団地 弘前市)	(秋元 翔太 大谷 香澄)

(3月届出分)



ごめい福を祈ります

町名	死亡者名	年齢
山道	菊地 長助	89
米元	中野 撃司	94
相原町	中野 昭和	85
駅前通り	神山 元代	88
野木	三浦 秀壽	67
野木	秋田 龍一	48
亀田	佐々木 登	82
掛元	澁谷 昭子	90
寺町	石川 カツ	86
亀田	藤田 國光	94
大性	石岡 フミ	91
寺町	木村 一味	93
富士見町	八木橋弘子	90
菖蒲川	工藤 訓民	76
横菴	小坂 正仁	75
境	織田 文雄	90
米元	工藤 キヨ	90
みどり町	齊藤一二三	79
問山	花田 隆實	92
大性	石岡 清丸	92

※この欄に載せたくない方は、届け出の際にくらしの窓口 班へ申し出てください。

(人の動き)

4月30日現在 (前月比)

人口	11,674人 (-7人)
男	5,450人 (-10人)
女	6,224人 (+3人)
世帯	5,375 (+9)
出生	2人 転入 33人
婚姻	0組 転出 21人
死亡	21人

公民館図書室に新刊が入荷されました

フランスのごはん

文：銀城康子 / 絵：マルタン・フェノ



鶴田町出身の絵本作家・銀城康子さんの世界各国の食事を紹介するシリーズ。2006年～2023年に25冊刊行。管理栄養士の視点から執筆。「食事からはその国の気候風土、産業、歴史や文化等、あらゆるものを学ぶ事ができる」と語っている。

図書カードをまだ持っていない方、興味のある本がございましたらいつでもご相談ください。

【本屋大賞受賞】

- ・成瀬は天下を取りにいこう / 著：宮島 未奈
- ・老いの上機嫌 / 著：樋口 恵子
- ・舟を編む / 著：三浦 しをん
- ・中野のお父さんと五つの謎 / 著：北村 薫
- ・うちゅういちの たかいたかい (絵本) / 著：ホツシーナッキー



**事業主の皆さまへ
高卒求人申し込みについて**

6月1日(土) から県内のハローワークにおいて、令和7年3月新規高等学校卒業予定者を対象とする求人申し込みの受付を開始します。

受理した求人は7月1日(月)から高等学校に公開され、就職を希望する生徒は、夏休み前に応募する企業の絞り込みを行います。

前年度、ハローワーク五所川原管内では、5割以上の求人が6月中に申込みされており、全国的にも求人申込みの早期化が進んでいます。優秀な人材の確保のために6月中の求人申込みをお願いします。

■問い合わせ先

総務省からのお知らせ

五所川原公共職業安定所
☎ 0173 (34) 3171
求人の申込 求人企画部門
就職支援全般: 専門援助部門

6月1日〜10日は「電波利用環境保護周知啓発強化期間」です。

電波は航空機や船舶、警察、消防、救急用など私たちの生活の安心・安全の確保に使われています。

不法電波は、こんな大切な通信を妨害して私たちの生活や、人命の安全を脅かします。

■電波の混信・妨害の問い合わせ

総務省 東北総合通信局
☎ 022 (221) 0641

■裁判員制度15周年を迎えて

裁判員制度は、18歳以上の国民の中から選ばれた6人の裁判員が刑事裁判に参加し、3人の裁判官とともに、被告人が有罪かどうか、有罪の場合、どのような刑にするのか決める制度です。

国民の皆さまのご参加・ご協力に支えられ、今年5月で15周年を迎えます。

■問い合わせ先

青森地方裁判所総務課
☎ 017 (722) 5421

自動車税種別割のグリーン化制度について

自動車環境対策の観点から、排出ガス性能及び燃費性能の優れた環境負荷の小さい自動車については、その排出ガス性能及び燃費性能に応じて税率を軽減(軽減)し、初回新規登録から一定の年数を経過した環境負荷の大きい自動車については税率を重く(重課)する自動車税種別割の「グリーン化特例」が実施されています。

なお、令和4年4月1日から令和8年3月31日までに初回新規登録する家用の乗用車については、グリーン化特例(軽減)の適用対象が電気自動車等に限定されま

す。詳しくは、県ホームページ「県税市町村税インフォメーション」をご覧ください。

■問い合わせ先

西北地域県民局県税部
☎ 0173 (34) 3141

職業訓練指導員試験事前講習(指導方法) 受講生募集

在職中の方を対象とした試験対策講習を実施します。

▽講習日時

7月2日・3日・4日・5日
18時〜21時

▽会場

弘前高等技術専門学校

▽受講料・定員

1000円・10名

▽募集期限

6月10日(月)まで

▽申込方法

FAXまたは郵送でお申し込みください(募集締切日必着)。
※受講申込書は当校ホームページからダウンロードできます。

■問い合わせ先

弘前高等技術専門学校
☎ 0172 (32) 6805
FAX 0172 (35) 5104

「第2種電気工事士技能試験事前講習(上期)」受講生募集

在職中の方を対象とした試験対策講習を実施します。

▽講習日時

7月3日・4日・5日
9時〜16時(休憩1時間)

▽会場

弘前高等技術専門学校

▽受講料・定員

1600円・15名

▽募集期限

5月の町税等納期

- 上下水道料金 5月分 [5/21(火)]
- 町営住宅使用料 5月分 [5/27(月)]
- 固定資産税 1期 [5/31(金)]
- 軽自動車税 全期 [5/31(金)]
- ※【 】納期限日

口座振替を利用していない方は、手続き簡単で便利な口座振替のご利用をご検討ください。

行政・人権相談

町では、町民の皆さんの行政に対する意見や要望、日頃生活する上での困り事など、さまざまな内容の相談を受けるための行政相談と人権相談を行っています。

- 期 日 6月10日(月)
- 相談時間 午前10時〜午後3時
- 場 所 国際交流会館1階 101会議室

防災無線を聞き逃したら!

町の防災行政無線では、災害情報や町のイベント情報などを町民の皆さまに周知しています。万一、放送内容が聞き取れなかった場合、電話で確認できますので、ご活用ください。

- ◆確認用ダイヤル
☎ : 0173-23-2333
※通話料は利用者負担となります

6月12日(水)まで

▽申込方法

FAXまたは郵送でお申し込みください(募集締切日必着)。

※受講申込書は当校ホームページからダウンロードできます。

■問い合わせ先

弘前高等技術専門学校

☎0172(32)68005

FAX 0172(35)5104

公共職業訓練の受講生募集

ポリテクセンター青森では、求職者の方を対象に、地域企業の人材ニーズに即した訓練カリキュラムによる公共職業訓練を無料で実施しています。

現在、7月期生を募集中です。

○デジタルものづくり科

▽訓練期間

令和6年7月2日～

令和7年1月29日

○住宅リノベーション科

▽訓練期間

令和6年7月2日～12月20日

○電気設備技術科

▽訓練期間

令和6年7月2日～

令和7年1月29日

【共通事項】

▽訓練場所

ポリテクセンター青森

▽定員・受講料

各科15名・無料(教科書代などは別途負担)

▽募集期限

6月12日(水) 午前まで

▽試験・面接

6月17日(月)

▽応募方法

ハローワークへ受講申込書を提出してください。

■問い合わせ先

ポリテクセンター青森

☎017(72)1771

教員として西北地区で働いてみませんか?

【ペーパーティーチャー向け説明会】

教員免許更新制が解消され、令和4年7月1日以降の免許状の取扱いが変更となりました。教員免許はあるものの、教員経験のない方や、さまざまな理由で教職を離れている方に対して、変更後の免許状の取扱いや、教員の仕事について説明します。

▽開催日時

6月9日(日) 14時～15時30分

▽場

五所川原合同庁舎1階C会議室

▽申込方法

電話・メール

※申込みの際は、氏名、電話番号、所持教員免許状、免許取得年月をお知らせください。

■問い合わせ先

西北教育事務所 総務課

☎0173(35)2170

メール(E-SEIHOJKU@pref.aomori.lg.jp)



町の保健だより

献血のお知らせ

安定的な輸血を行うために、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

●日時：6月14日(金)

10:00～12:00、13:15～16:00

●場所：豊明館

●対象年齢：16歳～69歳

※65歳～69歳の方は、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。

新型コロナウイルスに関する各種問い合わせ。医療機関の紹介、健康面(後遺症含む)・予防方法等の相談

・青森県新型コロナウイルス感染症総合電話相談(24時間対応)

☎: 0570-065-965

・厚生労働省電話相談窓口

☎: 0120-565-653

・役場 子ども健康課

☎: 22-2111

「飛鶴会」の会員を募集しています

飛鶴会は、平成6年に発足し、精神障害者を家族に持つ方たちが集まり、活動している会です。

当事者の社会復帰を目指し、病気の理解や家族の役割を学んでいます。また、家族同士の仲間づくりや当事者との交流を図りながらボランティア活動も行っています。

【主な活動の様子】

4月：総会、定例会

5月～9月：清掃ボランティア 野外研修

10月：西北五地区家族学習交流会 定例会

11月：いのちのまつり参加

12月：クリスマス会

1月～3月：親睦会、定例会

※入会希望の方、また会の活動や詳しい内容についてお知りになりたい方は、町保健師までお問い合わせください。

悩みを抱えていたら相談してみませんか?

【こころの相談窓口】

●よりそいホットライン

生活の中で困っていること等、どんな悩みでもご相談ください。

☎: 0120-279-338(毎日24時間対応)

●こころの健康相談統一ダイヤル

所在地域の公的な相談機関につながります。

☎: 0570-064-556

(平日9時～16時、18時30分～22時)

●NPO法人あおもりのちの電話

☎: 0172-33-7830(毎日12時～21時)

※メール相談は「あおもりのちの電話」ホームページから入室

【誰かに話を聴いてほしい】

●鶴田町傾聴ボランティア「つるりんの会」傾聴サロン

日時：第1・第3月曜日(祝日除く) 13時～15時

場所：鶴遊館 栄養指導室

☎: 0173-22-2111

(担当：子ども健康課 健康推進係)

【有料広告】



地域の発展を願う りんごの産地市場

地方卸売市場



株式会社津軽りんご市場

〒038-3684 板柳町大字三千石字二湯21-3

TEL: 0172(72)1211 FAX: 0172(72)1229



令和6年度 ことぶき大学を開講します



町のお年寄りに学習や活動の場を提供し、健康で生きがいを持ってもらうことを目的とした「ことぶき大学」を今年も開講します。

日時	内容	講師
6/21(金) 9:30～11:15	・開講式 ・アレンジフラワー教室	中野フラワー
7/2(火) 10:00～11:15	・「誰一人取り残さない 防災教室」 ～能登半島地震 被災地支援活動から～	一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと
8/6(火) 10:00～11:15	・朗読劇 読み聞かせ	声優劇団 津軽カタリスト 青森支部
9/25(水) 9:00～15:00	・現地学習	津軽藩ねぷた村
10/24(木) 10:00～11:15	・ミニ運動会	
11/7(木) 9:30～11:15	・閉講式 ・お楽しみ会	

▽開催場所
鶴田町公民館
▽申込期限
6月12日(水)まで
▽申込方法
公民館に電話でお申し込みください。

※講座内容は変更になる場合がございます。

■問い合わせ先：鶴田町公民館 ☎：0173-22-2818

JICA海外協力隊募集！＝「人生なんてきっかけひとつ」＝

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、開発途上国で現地の人々と一緒に生活をしながら、互いに学びあい、人づくり国づくりに参加できる方を募集しています。

【JICA海外協力隊2024年春募集】

募集期間：5月17日（金）～7月1日（月）

※詳細はJICA 海外協力隊のウェブサイトでご検索ください。

【JICA海外協力隊WEBサイト】

URL：https://www.jica.go.jp/volunteer/



【JICA海外協力隊2024年春募集説明会】

①八戸市

▽会場：八戸ポータルミュージアム はっち

▽日時：6月2日（日） 14時～16時

②青森市

▽会場：スタートアップセンター青森

▽日時：6月8日（土） 14時～16時

※参加無料・入退場自由

■問い合わせ先：(公社) 青年海外協力協会JOCA東北 ☎：0223-236-9851

【有料広告】

24時間365日スピーディーな対応
ガス機器販売・設置・清掃・修理 すべてお任せください！

安全と安心の **ひまわりガス**

でんき・ガス・灯油・住まいのサービスなら...
ミライフ東日本株式会社 北つがる店
五所川原市広田字柳沼90-3 ☎0120-17-2440
営業時間 平日 9:00～17:00(夏季・冬季休業日を除く)

ハンセン病元患者のご家族へ

厚生労働省
～対象となる方々に「補償金」を支給します～

○この補償金は、法に基づき、ハンセン病元患者家族の被った精神的苦痛を慰謝するためのものです。
○秘密は守られますので、まずは、お電話でご相談ください。
○補償金額：180万円または130万円
※一部同居等の要件あり

厚生労働省 補償金担当窓口 ☎電話番号 **03-3595-2262**
受付時間 10:00～16:00(月曜日から金曜日、土日祝日、年末年始を除く。)

請求期間は、令和6年(2024年)11月21日まで

ハンセン病問題を正しく理解し、偏見や差別のない社会の実現を目指しましょう。 **ハンセン病 厚労省** 🔍 検索

～捨てる前にちょっと待って！～

「雑がみ」は資源です！

何げなく、いらなくなった紙類を燃えるごみ（黄色袋）として出していないか？

燃えるごみの中には、リサイクルできる紙類の混入が多く見受けられます。これらを分別することで、ごみの減量や処分費の軽減、環境への負荷も少なくすることができます。

資源ごみ（紙類）

鶴田町が回収している紙類

- ①ダンボール 
- ②新聞紙・チラシ 
- ③紙パック 
- ④雑がみ・雑誌 

※同じ種類ごとにまとめて、古紙収集日に出してください。

☆古紙回収は古紙リサイクルセンターでも受付中 (各町内会の集団回収を優先してください)

紙ごみの資源化をさらに促進するため、一般家庭や事業所からの古紙をいつでも無料で受け入れることのできる古紙リサイクルセンターを設置しています。

■鶴田町古紙リサイクルセンター

(株) 西北五クリーン社 鶴田営業所 (菖蒲川字前田142-3)

☎ : 0173-22-2011 午前8時～午後4時まで

(毎週日曜日・12月31日から1月3日を除く)

○雑がみになるもの

- カレンダー 
- 封筒・はがき 
- 紙袋 
- ティッシュ・お菓子などの空き箱 
- 包装紙 
- その他にも…
○名刺
○メモ用紙・プリント類
○トイレットペーパーの芯など

×雑がみにならない

- 油等で汚れた紙
- 臭いのついた紙
- 防水加工された紙
- 細かいシュレッダー紙
- 感熱紙
- 特殊加工紙
- 粘着のある紙



上記のものは燃えるごみ（黄色袋）に出してください

△注意してください



◀紙製容器包装のリサイクルマークがついていても、上記のものはリサイクルが困難なため燃えるごみに出してください。

小さな紙切れなどは紙袋にまとめ、回収の際に中身が散乱しないよう紙ひもで束ねましょう



■問い合わせ先：住民環境課 環境対策係 ☎ : 0173-22-2111 (内線151、152)

■令和6年鶴田町クリーン運動

4月13日（土）、町内の企業・団体、町役場職員による町内のごみを拾うボランティア活動「クリーン運動」が行われました。

町では地域環境の美化を目的に、毎年クリーン運動を行っています。活動場所は役場からJR陸奥鶴田駅周辺や富士見湖パーク周辺。約150人のボランティアによるごみ拾いは、約30kgのゴミを収集しました。

参加企業・団体

- ・(株) 青森銀行 鶴田支店
- ・ハイコンポーネツ青森株式会社
- ・鶴の舞橋観光ガイド
- ・鶴田町役場
- ・(株) みちのく銀行 鶴田支店
- ・鶴田ライオンズクラブ
- ・五所川原地区消防事務組合 鶴田消防署
- ・株式会社 須郷土木 (ゴミの運搬協力)



飼い主のいない猫を増やさないために！

町には飼い主のいない猫に
対する苦情や相談が
多く寄せられています。

庭にフンをされて
困っている



鳴き声
うるさくて
眠れない

最近猫が増えてきた

どこかに連れて
行ってほしい

飼い主のいない猫を増やさないためにも、
皆さんのご協力をお願いします。

飼い主のいない猫にエサを与えている方へ

一時的な感情でエサを与えてしまうと、周囲の迷惑になり、かえって不幸な猫を増やしてしまいます。また、エサを与えることで飼い主とみなされ責任を負わなければなりません。むやみなエサを与えることはやめましょう。

猫を地域の嫌われ者にならないためにも、エサを与える以上は、不妊去勢手術、トイレの設置や清掃、食べ残したエサの片付けなど、猫の管理をきちんとすることが大切です。



猫を飼っている方へ

- **去勢・不妊手術** : 猫は年間 20 頭以上の子猫を生みます。不用意な繁殖を防ぐために、不妊・去勢手術を行いましょう。
- **屋内飼育** : ふん尿のトラブル・病気や事故を防止するために、室内で飼育しましょう。
- **身元の表示** : 連絡先を首輪に付けることで、事故・災害・失踪などの際に早期発見につながります。
- **終生飼育** : 一度飼育した猫は、責任を持って飼い続けましょう。

飼い主のいない猫への不妊・去勢手術に対する助成事業

公益財団法人どうぶつ基金では、飼い主のいない猫に関する苦情や、殺処分の減少に寄与するため、無料の不妊去勢手術チケットの配布を行っております。

なお、現在チケットを使用できる動物病院は、県内では八戸市に 1 箇所、鱒ヶ沢町に 1 箇所と少数であり、動物病院では月毎の受入頭数が限られています。

【URL】 <https://www.doubutukikin.or.jp/>



動物の愛護及び管理に関する法律で、次のように罰則が定められています。

- 愛護動物を殺傷した場合、5年以下の懲役または500万円以下の罰金
- 愛護動物を遺棄・虐待した場合、1年以下の懲役または100万円以下の罰金

■ 問い合わせ先：住民環境課 環境対策係 ☎：0173-22-2111（内線151・152）

歴史文化伝承館（旧水元小学校）イベントのお知らせ

《津軽富士見湖周辺のいきものたち写真展》

鳥好きな仲間の作品を展示しています。

日時 5月12日（日）～5月31日（金） 9：00～16：00

場所 鶴田町歴史文化伝承館 展示ギャラリー ☎：0173-22-2692

※展示期間は都合により変更となる場合がございますので、予めご了承ください。



21世紀の町の担い手たち

家族からのメッセージ



令和6年2月に出生届けがありました
赤ちゃんをご紹介します。



のあ
叶愛ちゃんへ

元気に産まれてきてくれてありがとう！
すくすく健康に育ってね♡

千島 香さん(桜町)



しんたろう
心汰朗ちゃんへ

健康第一！元気に大きくなるんだよ～！！

佐藤 真美さん(山道)



町新規採用職員を紹介します



総務課 行政係
対馬 拳勇

初めのうちはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、1日でも早く仕事を覚えて、町民の皆さまのお役に立てるよう精進してまいります。



子ども健康課 健康推進係
佐藤 彰音

慣れないことばかりで至らぬ点が多いかと思いますが、笑顔と挨拶を心がけ、町民の皆さまのお役に立てるよう努力してまいります。



税務会計課 資産税係
高橋 光徳

1年目でわからないことばかりですが、やさしい先輩方に教えてもらいながら、精一杯頑張っていこうと思います。



企画交流課 計画係
加藤 雅也

初めてのことばかりで至らない点があるとは思いますが、1日でも早く業務に慣れ、町民の皆さまのお役に立てるよう努めてまいります。



子ども健康課 健康推進係
対馬 ももこ

初めのうちは至らない点が多々あるとは思いますが、業務に一生懸命取り組み、町民の皆さまのお役に立てるよう日々努めてまいります。

ハサミで切り取ってお使いください。



食改
おすすめ
レシピ

地場産品を使った料理/食生活改善推進協議会「みつば会」監修

野菜だしのミネストローネ

1人分：152kcal 塩分1.0g 野菜量144g 調理時間15分

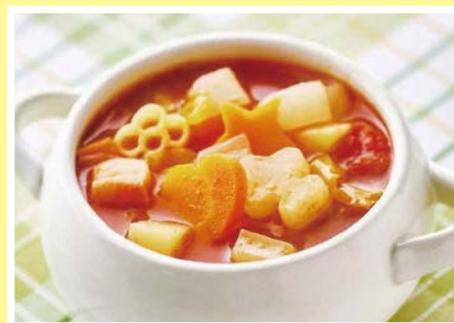
野菜をたっぷり使うだけで、うま味が味わえるスープが作れます。季節の野菜を入れると、さらにおいしさがアップします。ぜひ、お試しください。

◆作り方

- ① にんじん、大根はよく洗い、皮ごと0.5cmの厚さに切り、型抜きする。型で抜いた残りの部分は角切りにする。
- ② 玉ねぎ、セロリ、じゃがいも、ベーコンは1cm角に切る。キャベツは2cmのざく切りにする。
- ③ 鍋にオリーブオイルを入れ、中火にかける。玉ねぎ、にんじん、セロリ、ベーコンを入れ、しんなりするまで炒める。
- ④ じゃがいも、大根、カットトマトを入れ、軽く混ぜ、水を入れる。
- ⑤ 沸騰したら弱火にし、キャベツを入れ、5分煮る。マカロニを入れ、茹で時間分さらに煮込む。塩、こしょうで味をととのえて、盛り付けたらできあがり。

★ポイント

人参を型抜きするだけで、いつもと気分が変わります。
マカロニが入るので、時間がたつとやわらかくなりすぎてしまいます。お早めにお召し上がりください。



◎材料(4人分)

にんじん	… 1/2 本	大根	… 100g
玉ねぎ	… 1/2 個	セロリ	… 1/2 本
ジャガイモ	… … … … …	1 個	
ブロックベーコン	… … … … …	50g	
キャベツ	… … … … …	25g	
オリーブオイル	… … … … …	大さじ 1	
カットトマト	… … … … …	200g	
マカロニ	… … … … …	30g	
水	… … … … …	600ml	
こしょう	… … … … …	少々	
塩	… … … … …	小さじ 1/2	

火の用心！春の火災予防運動

春の火災予防運動が4月8日から14日の日程で実施され、運動前日の7日には鶴田町消防団（下山正彦団長）が管内全域で広報パレードを行いました。

パレードでは、査察者の相川町長や下山団長らが町内15か所の屯所を巡回。各屯所では団員らの出勤状況の報告、服装や姿勢などの確認を行いました。また、団員らは日々使用する器具の点検や放水訓練などを素早く行い、緊急時に即応できる体制を披露していました。



放水訓練を行う消防団員



ダンボールメンコで遊ぶ子どもたち

地球環境について考えるアースデイ

4月13日、地球環境について理解を深めてもらう「アースデイ2024」が国際交流会館で開催され、町内の小学生が参加しました。

今回のアースデイは国際交流員のアネイスさんやジャクリンさん、町ジュニアリーダーたちが中心になって企画。イベントではアースデイの意義や地球環境について説明したあと、ダンボールとチラシでアート作品を作成やダンボールできたメンコ遊びが行われました。子どもたちは遊びを通して、普段ごみとして捨てているものの再利用について学んでいました。

鶴田BBCが県大会出場を決める

4月27日、第44回全日本学童野球大会の北郡予選が町営球場で行われ、町の少年野球チーム鶴田BBCが出場しました。

予選は鶴田、板柳、北津軽連合チームの3チームの総当たり戦で行われ、鶴田BBCは1試合目の北津軽連合チームに勝利。2試合目の板柳との試合では、序盤から相手のペースで試合が運ばれ、2点をリードされて迎えた最終回裏の鶴田の攻撃で打線がつながり、5x-4で鶴田のサヨナラ勝ちとなりました。

予選1位の鶴田BBCは、6月15日・16日に弘前市で行われる県大会に出場します。



県大会出場を決めた鶴田BBC

地域おこし 協力隊通信

Vol.66 (筆：毛利精悟)

協力隊の任期も残り2年。期限内にミッション(事業承継・町のプロモーション)を実行しつつ、町内への永住体制を整える必要があります。初年度は津軽「たんげ」ブランドへの参画、都庁でぶどう販売、有楽町で移住相談会、ぶどうジュースの海外販売等の活動を通して多くの方々にご助言やサポートをいただき、とても濃い1年でした。今年は町内会の班長を担当することになりました。さらに鶴田町や津軽地域を深く知りたいと思います。

ツル多はげます会の事務局活動では、メディア対応や新会員の受付、会計などを担当。最近では海外からの問い合わせも増えており、鶴田町の重要な観光資源だと感じます。頭の光で世界を照らす趣旨にご賛同くださる方の登録をお待ちしております。

引き続き空き倉庫やガレージ、ビニールハウスを探しています。情報募集中です。



左：ツル多はげます会例会にて

右：東京、有楽町での移住相談会



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。

地域おこし協力隊

おびかわ たくみ

(五所川原市出身)

帯川 匠 さん



首都圏からUターン

津軽のぶどう農家を目指す

4月1日、新たな地域おこし協力隊として着任した、帯川匠さんについてご紹介します。

志望したきっかけ

私は高校卒業後に首都圏の会社に就職しましたが、両親の定年退職を機に青森県に戻ろうと思っていました。もともと農業に興味があり、特にブドウが好きだったため、やるならブドウしかない！と思っていたところ鶴田町で地域おこし協力隊を募集すると聞き、即座に応募しました。

鶴田町に着任して

父親が鶴田町出身で子供の頃から身近に感じており、都会とは違い空気が綺麗で、町内のどこにいても岩木山に見守られている、安心感のある町と思います。

町役場の方をはじめ、お世話になっている成田師匠や住民の方々全員が心優しく、新規就農をするにあたりとても心強いです。移住してきたばかりですが、鶴田町に恩返しができるよう、日々努力していきたいです。

● 帯川 匠 おびかわ・たくみ

任務：スチューベンぶどうの情報発信や販促
ぶどう農家として就農

出身：五所川原市（前住所 埼玉県越谷市）

略歴：五所川原農林高校卒業後、首都圏の木材会社に就職。その後は埼玉県内の会社に転職して働いていたが、地元で農業をやりたい気持ちが芽生え、町の地域おこし協力隊になることを決意。



Vol.67 (筆：葛西 忍)

協力隊任用からまる1年。スチューベン就農への道はシーズン2へと突入しました。

シーズン2はこれまでの師匠についてのマンツーマンの指導から独立を見据えた活動へととなります。

よちよち歩き状態ですが剪定、結束を終え、葉がけ、肥料まきなどを行いました。まずは芽が無事に膨らみ出してホッとしております。

しかしながら、今年も気温が高めに推移しているようで成育が早い早い。まるでよちよち歩きの私たちを突き放すかのようです。また、ぶどうの枝やエスター線にも「ビュン」と顔を傷つけられることもしばしば。ただの「ちゃかし」という説もありますが新参者には厳しいようです。とは言えそれも面白がりながら、そして今回チャンスをくださり、温かい声をかけてくださる周りの方への恩と感謝を忘れず真摯に取り組んで参りたいと思います。



▲協力隊2年目の葛西さん。日々の農作業を行い知識を蓄える



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。



高めよう！防災意識
5月は水防月間です

自分たちの地域を水から守る。自ら守る。

岩木川 令和6年度 総合水防演習

日時 令和6年5月26日(日) 9:00~11:00 (予定) **入場無料**

会場 青森県北津軽郡鶴田町大字野木字東松虫地先
(岩木川左岸36.2km付近 保安橋下流)

主な実施内容

水防工法訓練／総合防災訓練

東北6県持ち回りで開催される総合水防演習は、平成28年以来8年ぶりの青森開催となります。タイムラインに基づいた実践的な訓練実施により、緊迫感のある東北最大級の総合水防演習です。万一の水害に対応できる知識と防災意識を高める絶好の機会です。ぜひご来場ください！



同時開催 防災知識を楽しく学べる！

防災展

8:30~13:00



水防演習会場周辺の
三次元ハザードマップ



パネル展示



豪雨の強さを体験！
降雨体験装置



自衛隊
災害派遣車



国土交通省
対策本部車
地震体験車

※写真は過去開催のもので、実際の展示と異なる場合があります。

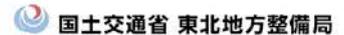
令和6年度
岩木川総合水防演習
公式ホームページ



お問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局
青森河川国道事務所
〒030-0822 青森市中央三丁目20-38
Tel: 017-734-4521
<http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/>

主催 岩木川流域13市町村 鶴田町、青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、
西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、中泊町



後援 青森朝日放送(株)、株青森テレビ、青森放送(株)、NHK青森放送局、(株)八戸テレビ放送、(株)エフエム青森、コミュニティラジオ高BeFM、東奥日報社、(株)アーリー東北新聞社、
(株)陸奥新報社、朝日新聞青森総局、河北新報社、産経新聞社青森支局、株毎日新聞社青森支局、読売新聞青森支局、一般社団法人共同通信社青森支局、時事通信社青森支局、
日刊建設青森、(株)日刊青森建設工業新聞社、(株)建設新聞社青森支局、(株)日刊建設工業新聞社東北支社、(株)日本建設新聞社仙台総局、日刊工業新聞社東北・北海道総局、
(株)日刊建設通信新聞社、(株)津軽新報社、青森ケーブルテレビ(株)、FMアップルウェーブ、(株)五所川原エフエム、(株)エフエムジャイコウェーブ、フジテレビ報道局青森支局(順不同)

訓練放送
お知らせ

5月22日(木)

11:00ころ(予定)

防災行政無線や登録制メール(つるりんほっとメール)を使用して、Jアラートの訓練放送を行います。予めご了承ください。

☎: 総務課 行政係 ☎: 22-2111 (内線271)